

# 家庭学習の手引き 5、6年

見える所にはっておきましょう

## 神足小学校が考える家庭学習の意義とは

本校は、家庭学習のねらいとして、次の2点を設定しています。

(1) 既習事項の習熟を図り、基礎基本の定着を図ること。

例：計算ドリルや漢字ドリル、タブレットドリル、プリント学習、日々の復習など

(2) 学習課題を自己選択し、自らの学習方法で学びを深めること。

例：自主勉強、予習、テスト勉強、塾や習い事の学習など

中学校はもちろん、高学年になるにつれ(2)のねらいの比率が高まってくると考えます。

この家庭学習の手引きを参考にして、中身の濃い家庭学習に取り組みましょう。

### 1 家庭学習を始める前に(心構え)

- ・時間を決めてみましょう。(高学年は50分から1時間)
- ・自分から進んでみましょう。
- ・テレビやゲームなどをしながらするのはやめましょう。
- ・机の上を整理整頓し、常に整頓された状態を続けましょう。
- ・かばんの中身をすべて出し、学校からの配布物や連絡を必ず家の人に渡しましょう。  
(あるいは見える所、決まった所に置いておきましょう。)
- ・予習、復習を習慣化しましょう。
- ・自主学習に取り組みましょう。
- ・机上が片付けて、学習を終えましょう。



### 2 家庭学習の基礎(高学年)

★タブレットドリルを積極的に活用します。

- 音読
- ・自らめあてを決めます。(次時の学習内容に照らしたり復習を意識したりします。)
  - ・教科書の学習の手引きを、手掛かりにします。
- 漢字
- ・ドリル、漢字学習帳などは、丁寧かつ速くします。(何のためにしているのかを考えます。)
  - ・国語辞典や漢字辞典を使って、語彙を増やします。
  - ・熟語 ことわざ 慣用句などを積極的に調べます。
  - ・短文作りで力を伸ばします。
  - ・進んで読書をします。
  - ・新聞を読みます。
- 算数
- ・必ず復習をします。
  - ・ドリル、プリント、教科書(巻末の問題「たしかめよう」や「もっと練習」など)を何度も繰り返します。
  - ・必ず答え合わせをし、間違いを見付けたらやり直します。(なぜ間違えたのかを考えます。)
  - ・間違いは、その日のうちに直します。
  - ・答えの単位を注意深く見たり、問題と答えに矛盾がないか考えたりします。
  - ・返されたテストは、もう一度ノートにやってみます。



### 3 学習準備

★学習準備が、翌日の意欲につながります。

- ・学校で、次の日の時間割を確認します。
- ・学校にも忘れ物をしないようにします。
- ・次の日の準備をします。(まずは、カバンの中を一旦空にします。)
- ・連絡帳を見ながら、確実に準備を行います。
- ・宿題が終わったら、まず、鉛筆を削ります。(学習に必要なものは、入れません。)

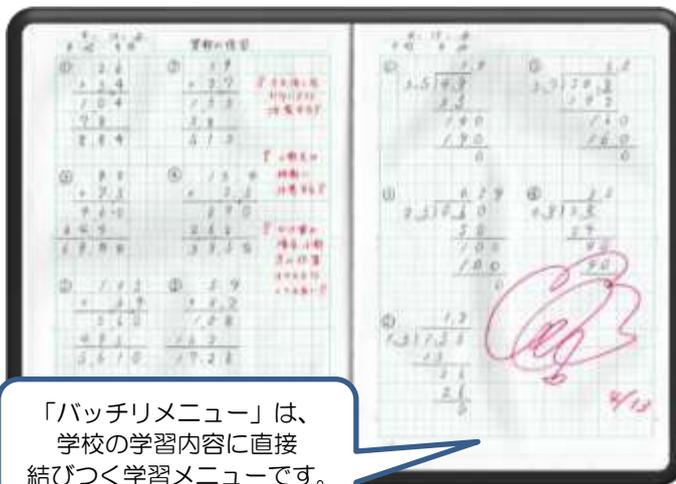
## 4 自主学習、たとえば…

### バッチリメニュー例

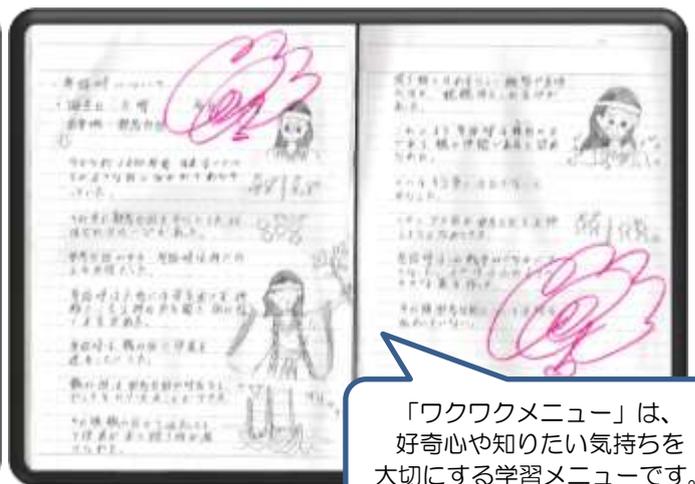
- ・今日の授業の復習
- ・新出漢字の書き順やつくり、語源
- ・漢字の熟語練習
- ・漢字の文章練習
- ・意味調べ
- ・詩や物語、教科書などの視写
- ・国語の予習
- ・音読
- ・ローマ字練習
- ・テストのまちがい直し
- ・テスト勉強
- ・計算ドリル
- ・授業でやった算数問題のポイント解説
- ・算数の文章問題づくり（式と答えも）
- ・算数の予習（わからないところ探し）
- ・理科、社会の教科書の音読、復習、予習
- ・タブレットドリル

### ワクワクメニュー例

- ・作家活動（物語作り）
- ・俳句（五・七・五）
- ・すてきな友だち紹介
- ・家族の紹介
- ・好きなもの紹介
- ・行事の振り返り
- ・係や当番や日直の仕事などからの連絡
- ・おすすめの本の紹介
- ・国旗調べ
- ・お手伝い（やったことと気付いたことをまとめる）
- ・歴史の人物調べ
- ・読書（読んだページ数と、読んだ感想をまとめる）
- ・都道府県と県庁所在地調べ
- ・世界地図と各国の特徴
- ・日本の地図帳調べ（海流や山脈）
- ・新聞の切り抜きにコメント
- ・植物調べ
- ・星や星座（夜空）の観察
- ・星座の神話調べ
- ・身近な Wonder（不思議）探し
- ・図鑑調べ
- ・料理調べと調理
- ・リコーダーの練習と今日のポイント
- ・四字熟語まんが
- ・ことわざ、慣用句まんが
- ・プレゼン資料作り
- ・筋力トレーニング（メニューと回数を書こう）
- ・写真で紹介（身近なものを紹介しよう）



「バッチリメニュー」は、学校の学習内容に直接結びつく学習メニューです。



「ワクワクメニュー」は、好奇心や知りたい気持ちを大切にする学習メニューです。

## 5 保護者のみなさんへ

- ・個人差を認めて、いっしょに考えてください。
- ・家庭での小さな頑張りや成長を認めてあげてください。
- ・家庭と担任の連携が大切です。どんなことでも知らせてください。
- ・親子の会話を大切にしましょう。